

第16回マニフェスト大賞 優秀躍進賞受賞

議会改革
一歩前進



Manifesto Awards

さらに

日本最大の政策コンテスト、「マニフェスト大賞」に知立市議会がこの一年、議会改革に取り組んできた活動内容2件を応募し、全国の応募総数2,730件の中から、165件の「エリア選抜」に2件とも選ばれ、2件一括で優秀躍進賞に選ばれました。

今回の応募内容

チャンスロスをなくせ!デジタル化で目指す議会のDX

議会のICT化やデジタル化は、以前より議会改革のメニューとして検討されてきたが「利便性の向上」程度に受け止められ遅々として進まなかった。コロナ禍でデジタル化、オンライン化が見直され「公開を止めない」「会話を止めない」「議事を止めない」ための議会活動が展開された。令和3年7月議会DX推進プロジェクトチームを発足。バリアフリーなデジタル化を「チーム議会」で推進する。

もっと開け!市民のための議会

議会改革の中で、市民に対して情報公開や意見交換を進めてきた。そこからさらに進化して、常設的に市民の声を聞く「議会モニター制度」を導入した。また主催者教育の一環として政治や選挙が身近になった高校生に議会活動を体験してもらい、地方自治への関心を高め、高校生の視点から広くまちづくりについて意見を聞き協議の機会を設けることを目的とした「高校生議会」を開催した。



知立市議会の議会改革は

平成22年度議会改革特別委員会を設置以来今日まで、議会の機能強化、市民に開かれた議会を目指し、毎年度様々な改革に取り組んできました。さらに近年はデジタル化への対応は必須でありICTツールの活用に留まらず、議会の在り方や市民の皆様との関係性の充実に向け一層の改革を進めてまいります。